

アル・アクサ洪水第470日目：ガザで停戦が始まる

The Palestine Chronicle、2025年1月18日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



停戦の発表にもかかわらず、イスラエルはガザで虐殺を続けた。(Photo: via QNN)

主要事項

*イスラエルは一か八かの賭けのような捕虜交換合意で、強硬派イタマール・ベン・グヴィル国家安全保障大臣の反対の中、737人のパレスチナ人囚人の釈放に同意した。

*イエメンからイスラエルへミサイルが発射され、イスラエル中央部で警戒警報がなり、イスラム聖戦がガザと接するイスラエル地域にロケット攻撃したと発表した。

*ガザ保健省によれば、2023年10月7日より続いているイスラエルのガザ・ジェノサイドで死亡したパレスチナ人は46,876人で、負傷者は110,642人となった。

最新情報

1月19日 8:46am (パレスチナ時間)

*アル・マヤディーン：パレスチナ各地と難民キャンプではレジスタンス戦士とその車両が集まった。ガザ警察がすぐに出動して騒動が起きないように警備にあたった。ガザ全体で人々が歴史的瞬間を祝福した。

1月19日 8:39am

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルによるパレスチナ人の無慈悲な大量殺害とそれに屈しないレジスタンスの471日目に、やっとガザ停戦が公式に始まった。

1月19日 5:41am

*イスラエル・メディア：ネタニヤフは釈放するパレスチナ人囚人の一部はパレスチナ以外の外国への国外追放の形を取ると言った。

*イスラエル・メディア：ガザ回廊南部ではイスラエル軍がラファ中心部からフィラデルフィ回廊へ引き揚げ始めた。

* イエメン・メディア：米軍機がイエメン首都の北のアズラキーンを4回空爆した。

* パレスチナ・クロニクル：ガザの人々は現地時間の午前8時半に停戦が始まるのを、やっとイスラエルの空爆が470日間ぶりに終わると思って、待っている。

ガザ停戦の内容は次のとおりである。

+ 停戦は2025年1月19日8:30amに始まる。

+ イスラエル軍は住宅地から撤退する。

+ 12時間イスラエル機はガザ上空を飛行をしない。

+ 一部の避難民は自宅がある村や町に帰る。

+ 一日に600台の救援物資トラックがガザに入る。

+ 捕虜交換は現地時間の4:00pmに開始する。

1月19日 2:02am

* イエメン・メディア：フーシ派の軍事報道官は、「我々は紅海北部で米軍のハリー・トルーマン空母をドローンとミサイルで攻撃した。これはこの空母が紅海に姿を現してから8回目の警告攻撃である。我々は停戦期間中もわが国に敵意を持つ紅海上の敵国船舶に警告する」と発表した。

* アル・ジャジーラ：東エルサレムでイスラエル警察は、今日釈放予定の6人の囚人の家族に、祝賀行為をするなど警告した。

* イスラエル・メディア：イスラエル軍ラジオ放送はナハル旅団の第932大隊が停戦協定に一環としてガザから撤退したと伝えた。

1月19日 1:56am

* 米国メディア：CNNはイスラエル軍がガザの一部から徐々に撤退する準備に入っていると軍事筋が確認したと報道した。これは停戦協定に沿ったイスラエル占領軍の再配置の一部である。

1月19日 1:55am

* パレスチナ・メディア：今日早朝、イスラエル占領軍はヌセイラト難民キャンプの居住アパートを砲撃した。ガザ市へ激しい空爆が行われ、ラファ市西部への砲撃もあった¹。

1月19日 1:40am

* アクシオス：消息筋がアクシオスに語ったところによると、次期大統領トランプの国家安全保障顧問は、ガザで人質になっている米国人の家族に、19日朝から発効するガザ合意のすべての段階を米政府が責任をもって監視すると言って、慰めた。

1月19日 12:07am

* CNN：(イスラエル軍関係者への取材)：イスラエル軍は、ガザ地区の一部から徐々に撤退する準備を進めている。この兵力配備の調整は、停戦合意の条件に沿ったものだ。

* イスラエル軍ラジオ放送：停戦協定の一環としてナハル旅団の第932大隊がガザ回廊から撤退した。

* イスラエル・メディア：イスラエル軍はガザ近接地域へのロケット弾発射を恐れて、警戒レベルを上げた。

* イスラエル刑務所局：イスラエル刑務所局は、明日の朝に釈放される予定の囚人を釈放施設へと移送していると発表した。

* イスラエル・ハヨム：イスラエル政治指導部は軍高位幹部を解任する計画に同意した。

* チャンネル12：ヒンド・ラジャブ財団はバルセロナでイスラエル兵を戦争犯罪の罪で起訴した²。

* ハアレツ：捕虜交換手続きは、3人の人質の名前の連絡に遅れがあったけれども、計画通り進んでいるというイスラエル官僚の言葉をハアレツが伝えた。

¹ 停戦発効までの置き土産として、撤退準備の他、イスラエル軍はガザ破壊行為を集中的に強めた。

² ヒンド・ラジャブ財団はイスラエルのガザ・ジェノサイドの犠牲になったヒンド・ラジャブの名を使った親パレスチナ運動「3月30日運動」の一部で、イスラエルの犯罪免責を断ち切るために、南アフリカ、スリランカ、スウェーデン、ブラジルなどでイスラエル兵を起訴している。

*ジェニンのレジスタンス：我々は緊張緩和のために和解調停を受け入れたにも関わらず、PA 保安隊は和解協定に違反している。ジェニン難民キャンプの包囲を解かないし、撤退合意した地域から引き揚げていない。理由もなく逮捕した人を釈放していないし、中には裁判もなしに45日間拘留されたままの人たちもいる。

*NBCのトランプとのインタビュー：まもなく捕虜交換で人質が解放されるだろう。そうならなければならない。私はネタニヤフに必要なことをきちんとやれと言った。立派な政府なら停戦を守るだろう。尊敬に値する政府ならば、停戦が続くだろうが、そうでないなら大混乱が起きるだろう。ネタニヤフは戦争を終えなければならないし、必要な行動をとらなければならない。

*アル・クッズ旅団：昨日夜、我々はガザ市東部でイスラエル兵を狙撃した。

1月18日 9:06 pm

*ネタニヤフ：我々はイスラエル国民が団結すれば、いかなる力もイスラエルを屈服させることが出来ないと、世界に宣言する。我々は人質全員を取り返すという我々の任務を成し遂げる決意である。この度の合意で33人の人質が、みんな生きてまゝ、帰ってくるだろう。我々は引き続いて戦争目的の実現を目指す——人質の全員返還とハマスの壊滅を。

*イスラエル軍ラジオ放送：「將軍たちの計画」の著者ギオラ・アイランド將軍はこの合意でハマスが勝利しイスラエルが大きく敗北したと宣言した。

*チャンネル14：ほぼ15か月間ガザで戦ったギヴァティ旅団が今日ガザから撤退した。戦闘態勢を整えよという命令はなかったと報告された。

*イスラエル軍ラジオ放送：昨日の捕虜交換・停戦合意を了承する会議では、大臣、政府官僚、政府顧問たちが泣いたと伝えられる。モサドの長官は合意は「ひどい」かもしれないが、イスラエルの現状を鑑みて「やむを得ない」と表現した。

*「ユダヤ人の力」党の声明：イタマル・ベン・グヴィル率いる「ユダヤ人の力」党は、捕虜交換合意を承認したことに抗議して、明日政府から離脱すると発表した。

*イスラエル軍ラジオ放送：イスラエル軍のヘルジ・ハレヴィ参謀長は新たに3大隊の西岸地区への配備を命令した。これで西岸地区の占領軍は20大隊となった。

*クッズ・ニュース・ネットワーク (QNN)：合意によって釈放予定のエルサレムのシルワン地区のゼイナ・バーバーの家をイスラエル軍が襲撃し、彼女の家族にお祝い行動をするなど警告した。

*イスラエル・メディア：今日の夕方テルアビブでナイフでイスラエル人が刺されて重傷となった事件があったが、犯人は西岸地区トゥルカルムのサラーフ・ヤヒヤと判明した。犯人は通行中の武装入植者によって射殺された。

1月18日 5:23 pm

*チャンネル13：テルアビブ中心街で起きた刺傷・発砲事件の被害者の一人は傷のために死亡した³。

1月18日 5:21 pm

*イスラエル医療機関：イスラエル人がテルアビブで銃撃されて重傷を負った。銃撃犯は射殺された。

*マアリブ：テルアビブ中心街で銃撃事件があったと伝えられた。警察が事件の背景を調査している。現場はたくさんの警察官でいっぱいである。

*イスラエル刑務所局 (マアリブの取材から)：3人のイスラエル人女性人質と交換に釈放する95人のリストを用意した。3人の人質は赤十字を通じて解放されるが、赤十字社はイスラエルでの祝賀騒ぎを避けるためにイスラエル内ではエスコートしない。

*イスラエル国家安全保障研究所：イスラエル軍は自分たちの戦果で戦争終結条件を作り出せなかったため、すっかり疲労している。停戦合意は軍がハマスを殲滅できなかったことを意味している。停戦でハマスは息を吹き返すし、捕虜交換で釈放された囚人の中からハマスの未来の指導者が生まれるだろう。ネタニヤフと安全保障体制の決定は兵士の命と人質を犠牲にしてなされた。

*フーシ派の軍事報道官ヤヒヤ・サーリー：ズルフィカール・ミサイル (イラン製弾道ミサイル) が標的に正確に当たった。標的はヤッフアにある敵の国防省と呼ばれるものだ。敵の防空システムはミサイル撃墜に失敗した。

³ 前項で述べられたナイフ事件とは別個の事件で、テルアビブで3人の入植者が刺され、銃撃された事件。

ガザ停戦中も敵の停戦違反に反撃するためにガザのレジスタンスと協力する。ガザのパレスチナ・レジスタンスとの連帯を再確認した⁴。

*ガザ市民防衛団：停戦になっても住民はガザ回廊北部への帰還を見合わせる方がよい。イスラエルの不発弾が随所にあるからだ。ガザ危機の解決にはすべての検問所を恒久的に開く国際的な措置が必要である。ガザ回廊北部の住宅の90%が全壊または半壊で、危険極まりない。

1月18日 3:04 pm

*アナドル通信社（トルコ国営通信社）：トルコのレジェップ・タイップ・エルドアン大統領はガザへの支持を表明し、イスラエルの虐殺にも関わらずガザの人々は断固たる態度だったと言った。

*アブ・ハムザ：イスラエルの爆撃はイスラエル人人質の死傷を招いており、人質家族は爆撃中止を要求すべきである。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍は東エルサレムを含む西岸地区への軍事作戦を行う中で、ヘブロンへ入る入口のほとんどをコンクリート柵で塞いだ。

*ガザ保健省：2023年10月7日より続いているイスラエルのガザ・ジェノサイドで死亡したパレスチナ人は46,899人で、負傷者は110,725人となった。

*トルコ外務省：トルコの外務大臣ハーカン・フィダンは停戦と人道支援物資のガザ搬入に喜びを表現した。

*イスラエル無人機攻撃：イスラエルの無人機がヌセイラト難民キャンプ西部を攻撃し、何人かが負傷した。

1月18日 12:14 pm

*ハマス：ネタニヤフが戦争を長引かせて虐殺を続けようとしたにもかかわらず、我々は占領軍の侵攻を止めて撤退させた。占領軍は戦争目的を実現出来ず、ただ非人間的な戦争犯罪を重ねただけであった。アル・アクサ洪水の戦いは我々の偉大な人民がレジスタンスで勝利し、傲慢な敵を打ち砕いたことを物語っている。我らの人民の血は無駄に流されたのではない。我々は人民の流血を決して忘れない。どれだけ長くかかろうと、敵の指導者と兵隊は追い詰められ、法で裁かれるであろう。

*ハマス：釈放者リストは、停戦条件で合意された規定に基づいて、それぞれ捕虜交換日の前に発表される。イスラエル人人質の釈放はイスラエルが釈放するパレスチナ人の数によって変わる。

1月18日 10:53 am

*イスラエル軍：イスラエル空軍はイエメンから発射されたミサイルを撃墜したと発表した。

*チャンネル12：イエメンからミサイルが発射されたのでベン・グリオン空港で航空機の発着が中断された。ミサイルの破片で起きた火事のため、テルアビブ南部のベエル・ヤアコヴへ消防隊が駆けつけた。

*イスラエル緊急医療隊：ミサイルでパニックになって防空壕に逃げ込む人々の混乱で怪我人が発生、緊急医療隊が出動した。

*イタマル・ベン・グヴィル：ベン・グヴィル国家安全保障大臣は、捕虜交換の内容が明らかになるにつれ、ますます懸念を強めた。「これは危険な取引だ。囚人をエルサレムや西岸地区に帰すなんて、危険極まりない。私はリクード党員に合意に反対せよ、まだ手遅れではない、と要求する」と述べた。ベン・グヴィルは合意をハマスへの屈服で、イスラエルの安全を脅かすもので、政府の超えてはならない一線を踏み超える行為だと批判した。

*イスラエル軍：イエメンからミサイルが発射されたのを受けて、イスラエル中部で警報が鳴っている。

*イスラエル民間防衛隊：アシュドッド南部と東部、及びエルサレムとその西部と南部郊外で警報が鳴った。

*ナイーム・カーセム（ヒズボラ書記長）：ガザ停戦と捕虜交換合意はパレスチナ・レジスタンスの粘り強さを証明するものだ。困難と苦境に耐えて復活するレジスタンスが目標を達成し、イスラエルは戦争目的を達成できなかった。レジスタンスとパレスチナ人民がイスラエルの危険な計画を挫いた。

*チャンネル13：国家安全保障会議の議長は閣僚会議で捕虜交換は西岸地区の治安にマイナスの影響をもたらす恐れがあると警告した。安全保障内閣は西岸地区、とりわけ入植地の安全保障を強化する決定をした。

⁴ 18日5:25 pm, Xにイエメンからのミサイル飛行の映像と「テレアビブとイスラエル中部、西岸地区とエルサレムの入植地で警報が鳴った後、爆発が聞こえた」という解説が載った。[@SuppressedNws](#)。

⁵ 「アブ・ハムザ」は多くの人に使用される一般的な別名で、誰を指すのか不明。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍はジャバリア難民キャンプ西部のアブ・シュレフ交差点近くに設置していた監視用クレーンを解体した。ジャバリアはパレスチナ・レジスタンスの牙城で、住民とレジスタンスを鎮圧する目的のイスラエル軍の標的であった。

*マアリブ：伝えられるところによると、次期大統領トランプの側近らが、トランプ・ネタニヤフ電話会談の結果トランプがネタニヤフの計画に不満であることを、ネタニヤフに伝えた。リーク情報によると、トランプ・チームはネタニヤフの仕切りによるものではなく、地域の和平計画を支持したと言われる。

*イスラエル民間防衛隊：武装襲撃を警戒してラマッラー付近のアルモン入植地で警戒警報が鳴った。

*カタール外務省：ガザ停戦は現地時間で19日午前8：30に発効する。住民は注意して当局の指導に従うように指示された。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍はジャバリア難民キャンプの中心部の住宅群を破壊した。

*イスラム聖戦：我らの戦士はガザとの国境近くのニール・アーム入植地にBadr-1 ロケット弾数発を撃ち込んだ。

*マアリブ：世論調査によると、捕虜交換合意に賛成したイスラエル人は73%で、反対したイスラエル人は19%であった。野党支持者の91%が合意に賛成で、連立与党支持者の52%が合意を支持した。

*イスラエル司法省：停戦合意の第一段階として、イスラエル人質の第一次解放と引き換えにイスラエルは737人のパレスチナ囚人を釈放する。

*カン：第一段階では5人の有名なパレスチナ人活動家が釈放リストに含まれていない。ハマスは次の段階で釈放することを要求している。